

正和会視察報告

報告者：小林貢

【日時】令和 7 年 8 月 27 日(水)

10 : 00 ~ 12 : 00

【場所】札幌オリンピックミュージアム

大倉山ジャンプ競技場

【参加者】仲間正司、森田哲哉、山崎貴裕、
小林貢、武藤政義、小澤芳輝、清水義朋



札幌オリンピックミュージアムの建物は 2 階建てとなっており、2 階から 1 階へ降りる構造となっている。

2 階では古代オリンピックの誕生から近代オリンピックへの変遷が紹介されている。冬季オリンピックの歴史を、歴代のメダルデザインの紹介や日本人メダリストの競技用具などが展示されている。

1972 年の冬季オリンピック札幌大会の開催決定までの道のりや 11 日間の内容を写真とともに見ることができる。

秩父宮様の北海道訪問から始まった、札幌のウィンタースポーツの歩みや宮様スキー大会の歴史、高松宮様、大野清七博士の資料などが展示されている。

1 階は、スキージャンプの体験シミュレーションや大倉山ジャンプ競技場の歴史、スキーの歴史では用具の変遷も実物資料とともに展示されている。

また、オリンピック出場選手が実際に使った競技用具の展示がされている。

日本で初めてスケートが行われたとされる札幌。日本、世界のスケートの歴史や用具が

見られる。

ボブスレーのスピード感を体験できるシミュレーションなどもある。

ミュージアム見学後、大倉山ジャンプ競技場を見学。

本競技場の最上部からは、札幌市が一望できる展望施設ともなっており、リフトを使用し展望台へと向かう。

大倉山ジャンプ競技場では、スキージャンプ大会や公式練習が開催されている。

【所感】

札幌オリンピックミュージアムは指定管理者制度により札幌市スポーツ協会が管理運営しており、札幌市のスポーツ振興を目的とした施設となっている。

スキーやスケート等、冬のスポーツの歴史や積み重ねてきた展示物の数々は競技当日の様子を彷彿とさせるものばかりであった。



スキー、スケート等の歴史や日本人選手の活躍を改めて知ることができた。

また、大倉山ジャンプ競技場の変遷を知ることができた。

北海道という地理を活かし、ウィンタースポーツを発展させた方々がそこには居たことなどは、見学の機会がなければ知りうることはできませんでした。

当市の地理的条件では叶わない施設ですが、スポーツやミュージアムにより継続できる施設を考える上での参考となった。